

くすふれ愛だより

玖珠地区コミュニティ運営協議会 総会を開催

五月十八日玖珠自治会館において、代議員四十
五名の出席をいただき事業計画、予算案について
原案どおり承認されました。

特にコミュニティ基金積立てについては十年間
にわたって一戸当たり毎年百円の積立てをするこ
になりました。出費が多端のあり恐縮ですがよろ
しくお願ひします(詳細は別掲)

また、役員改選で新たな十五名を選出し本格的
なコミュニティ活動のスタートを切りました。そ
の概要についてお知らせし皆様方のご協力を願
ひ申し上げます。

一、事業計画 部会活動

生活環境部会

環境整備

玖珠川河川敷の草刈・花壇整備、集落内道
路掃除、万年山道路沿線・伐株線草刈り、
山浦川・慈恩の滝公園草刈等

防犯・防災

防犯協力会(機動隊)の夜間防犯パトロー
ル及びイベント時パトロール。

春・秋の広報車による広報活動

教育文化部会

パトロール活動

青少年健全育成協議会、民生・児童委員会、
学校・PTAによる夜間防犯パトロール及
びイベント時のパトロール。

特に十九年度は「子どもの見守り隊」を
主体に地域の安全・安心のために自主的な
活動をしていただく「防犯パトロール隊」
の登録を募集中

生涯学習の推進

健康福祉部会

各種大会の開催

- ・ 地区体の開催(十月二十一日(日))
- ・ ウオーキング大会(七月、十一月)

コミュニティ基金について(概要)

1、コミュニティ基金創設の趣旨

地域のコミュニティ組織の求心力を強めると共に、協議会が実
施するコミュニティ活動の自主的かつ継続的な発展を図ること
を目的に、コミュニティ運営協議会に参加する住民自らの積立金
と町からの助成金を基本財源とする基金を創設する。

2、助成対象事業

特産品の開発及び奨励に係る事業、イベント関係事業など玖珠
地区の地域づくりに資する事業に助成。

3、基金運営委員会

玖珠地区住民の財産である基金の適切な管理を行うため、基金
運営委員会6名の委員(玖珠地区コミュニティ運営協議会役員3
名、学識経験者2名、町議会議員1名)を設置します。

4、基金積立額

(1) 積立金の目標額

10年間で1,200万円程度の目標額とする。(保留と
なっている400万円の配当が決まった時点で確定)

(2) 目標額の積み立て内容

ア、玖珠地区住民からの積立

1戸あたり毎年100円(年間20万)の積立、
19年度から10年間で200万円とする。

イ、町からの助成金

*総額	4,000万(町全体予算)
・均等割	3,200万(玖珠地区 800万)
・戸数・人数割	400万(玖珠地区 156万)
(小計)	3,600万(玖珠地区 956万)
・地区積立割	400万(玖珠地区 19年度末に配分)

* 積立金の徴収

各自治委員を通じて6月末までに納入していただきますよう
お願いします。

二、予算

収入は委託料四百五十五万円の外、町から
の事務補助金五十万円、自治会館使用料等約
五十万円、合計五百五十五万円で維持管理及
び活動を行っていきます。

コミュニティ主催講座等

- ・ 「団塊講座」
- ・ 「健康体操教室」
- ・ 広報誌「くすふれ愛だより」の発行
- ・ 玖珠自治会館建設促進活動
- ・ 小田地区ミニバレーボール大会
- ・ 山浦川親睦スポーツ大会
- ・ 老・婦・青レクリエーション大会
- ・ 地域づくり部会
- ・ 伝統芸能等の継承
- ・ 玖珠地区供養盆踊り大会
- ・ 観月祭
- ・ 地域イベント等の支援・協力
- ・ 塚脇地蔵講、塚脇祇園、塚脇ふれあい
会、山浦川夏祭り、どんど焼き、小田
区民祭等

三、その他

- ・ 新たな組織加入団体
「塚脇歩こう会」、「塚脇子ども会」
- ・ 印刷代金の設定
「J」代(現行どおり)
一枚につき十五円
- ・ 印刷代(新規設定)
製版一回につき五十円、
印刷一枚につき一元



コミュニティ運営協議会総会のようす

十九年度役員紹介

会長	佐々木 新 (自治委員会)
副会長	安部 喜久郎 (自治委員会)
副会長	中山 キミ子 (婦人会)
生活環境部会長	麻生 隆文 (防犯協力会)
教育文化部会長	武石 和正 (青少年健全育成協議会)
健康福祉部会長	金藤 勝典 (体育協会)
地域づくり部会長	山上 誠治 (地域振興会)
会計	穴井 輝春 (自治委員会)
役員	後藤 萬壽雄 (自治委員会)
役員	梅木 建造 (自治委員会)
役員	今田 進勝 (自治委員会)
役員	手島 照子 (食生活改善推進協議会)
役員	竹内 良次 (商工会)
監事	帆足 達也 (PTA)
監事	井原 道善 (自治委員会)
事務局長	

よろしくお願ひいたします。